

聖光学院校友會報

聖光学院
校友會發行

横浜市中区
滝之上100番地
聖光学院内
☎045 (621) 2051
發行人 小菅 政義
印刷所
神奈川新聞社

第10回校友會總會 第18回卒業生の集い 開かれる



卒業生の集いで挨拶に立つ小菅新会長

して第九期(平成十五、十六、十七年度)会務報告が、第二号議案として収支報告並びに監査報告が行われた。第三号議案として会則改正の件について趣旨説明が行われた。卒業生のさらなる参加を促して人材の登用を図るため理事、監事、評議員の人数を増やすこと、役員任期を一年とし、会長の再選を不可とすること、会長が毎年交代することになるため、総会は従来の三年

に一度の開催から毎年開催に変更されること、定足数についても従来の規定では実態にそぐわないため総会出席者の過半数に改めることが提案された。

【会則の改定】
会則の主な改定点は次のとおり。
一、理事、監事、評議員の人数をそれぞれ十名以上、二名以上、三十名以上に変更する。

二、会長の任期を一年とし、再選を不可とする。
三、定時総会を従来の三年に一回を毎年開催に改める。
四、総会の定足数を二百名としていたが、これを出席者の過半数に改める。

【卒業生の集い】
総会終了後、第十八回卒業生の集いが開催された。生憎の雨のため修道院ガーデンでの開催を取り止め、急遽セミナーハウスの食堂と会議室に場所を移して開催された。

名譽会長の工藤校長から「文化の発信は私学の務め」であると、土曜日を利用した音楽・絵画等の文化・芸術活動についての話があり、小菅会長からは「この一年間皆で仲良く校友会を盛り立て母校に貢献してゆきたい」との挨拶の後、全員で乾杯、懇談に移った。狭い屋内という制約があったものの久し振りの再会に賑やかな懇談が続き、来年の再会を期して終了した。

以上、議案について異議なく賛同を得て議決された。新会長に就任した小菅氏より友田前会長に対し、校友会設立以来の永年の功労に謝す旨の挨拶があり、最後に清水理事より、時代の変化を感じさせる総会となったとの閉会の辞があった。

【総会】
去る四月二十九日(土)、聖光祭(文化祭)の日に、例年通り第十回校友會總會並びに第十八回卒業生の集いが修徳院サエルセンターに新設された聖光学院のセミナーハウスにて開催された。

会計報告、監査報告が行われ、古川監事(一期)からも交代の意向が表明された。同じく監事の大隈氏の辞任も伝えられた。

昭和三十六年に聖光学院に就職した時は現在の聖光学院の校長先生始め中心的存在に在る先生方が、中高生でした。年月が過ぎたんだなあと思う思いが、思い出せば素晴らしい生徒に恵まれ自身も育った様な気が致します。



聖光の思い出

元体育科教諭
田平 充宏

授業に対する前向きな態度どれを取っても素晴らしいと思います。将来どの様な時でも役に立つと思えます。この様な立派な教育環境で三十三年間御世話になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。普通では経験できない学校行事「ホームステイ、修学旅行、古都研修、猪苗代、金山平登山キャンプ」等私の不参加行事といえませんが、スキー実習だけでした。関係の諸先生より側面から色々な知識を習得できました。学校での授業では絶対習得

出来ない物を得ることが出来、私の立派な財産になっています。
定年になり網代山での生活、退屈ですね、人間健康な時は変化、目標、仕事がないと、駄目ですね、忙しい仕事におられる時は暇を求め、やはり人間性がままたなんだというのを身を持って体験しています。現在はリゾートマンションの管理、プール、温泉、ボイラ等の管理の仕事に毎日忙しかけています。未だ慣れないのでオーナー様との対応は大変苦労しています。でも元氣な時出来ることを経験していく大切さを知ることが大事だと思ひ頑張っています。生かされている自

分、護られていることに感謝し、智流学院生を指導できる世の円満な指導者を目指し、「一如余の御奉仕にも身を投じています。色々書かせていただきましたが現在生かされている自分、聖光学院という素晴らしい環境で勤めさせていただけましたことに感謝の気持ちを持ち続け、努力の継続は力なりと信じて生きていきたいと思っています。皆様も家庭を、職場を徳積みする修行の場と考え、感謝のできる世の円満な指導者を目指しやすらばらしい聖光学院の存続に努力精進してまいります。陰ながら応援しています。本当に世話になりました。

2007年創立50周年記念 明年ベートーヴェン「第九」演奏会で いっしょに演奏しませんか?

聖光学院の創立50周年を記念して2007年12月22日(土)に、弦楽オーケストラ部・吹奏楽部・グリークラブを中心に生徒・教員・保護者・OB・関係者の有志の参加によるベートーヴェン交響曲第9番「合唱付」全楽章の演奏会をおこないます。会場はみなとみらい大ホールで、第九を得意とされる横島勝人先生の指揮、ジョン・健・ヌツォさん、大倉由紀枝さん、永井和子さんという豪華なソリスト陣が内定しています。

OBの皆さんの中で参加できる方を募集します。合唱・管弦楽とも来年9月から毎週土曜日の放課後の練習に参加できることが条件です(8月に集中練習もあります)。

- *合唱は全くの未経験でもかまいません。現在男声応募者が少ないのでふるって応募下さい。
- *弦楽器はある程度楽器経験のある方を募集します。
- *管楽器はアマオケなどで十分経験された方を募集しますが、生徒を優先しますので人数調整でご希望に添い兼ねる場合があるかもしれません。お問い合わせをお待ちします。

ご参加いただける方は、2006年10月末日までに下記内容を、ファックスまたはメールにてお申込み下さい。ご不明な点などございましたら学校までお問い合わせ下さい。詳しくは管弦楽は川島先生、合唱は小佐野先生までご連絡ください。

尚、創立50周年記念として、2007年12月22日は、一部「第九演奏会」、二部「3期小田和正氏の記念コンサート」(パシフィコ大ホールにて)、三部「祝賀会」(パシフィコ展示ホールにて)を予定。詳細が決まり次第お知らせ致します。

ファックス 045-621-2286
メールアドレス souritsu50@seiko.ac.jp

- ◎お名前、御住所、御連絡先電話番号、卒業期
- ◎いづれかをお知らせ下さい。
- *合唱希望パート S・A・T・B・不明
- *弦楽器名 Vn・Va・Vc・Cb
- *管楽器名 ()
- ◎今までの経験年数・所属団体(合唱団・学生オケ・アマオケなど)があればお知らせ下さい。

第12回「滝之上会」 盛況裡に開催



第十二回滝之上会が五月七日(日)に千葉県の花生CCにて、工藤校長以下総勢四十二名が参加して開催されました。当日は生憎の雨となりましたが、日頃の研鑽ぶりが発揮され白熱した試合となり、藤井隆晴氏(12期)が見事優勝。賞品もOBの皆さんから多数の協賛を得て豪華なものとなりました。協賛頂いた皆様はこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

【広報委員】
今回の校友会報は以下の広報委員を中心に編集しました。
委員長 石原 義一(3期)
委員 高倉 俊一(3期)
委員 茅野 誠(9期)
委員 中野 秀和(11期)
委員 花家 徹(13期)
委員 伏見 靖(20期)

【会長挨拶】
小菅 政義
平成十八年度の校友会会長をお受けすることになりました。2期の小菅正義です。

校友会は聖光卒業生OBの集りであり、約七、〇〇〇名になろうとしています。OBが気軽に参加でき、異業種交流が活発にできるような雰囲気作りが大切であると思います。

【Eメールアドレス登録のお願い】
校友会から会員の皆様への連絡をEメールにて行っています。校友会報や各種ご案内もメールでさし上げられます。聖光学院中学校高等学校ホームページ<http://www.seiko.ac.jp/>のイ

ンデックスから「校友会サイト」<http://www.seiko.ac.jp/kouyukai/>へ進み「メールアドレス登録ページ」から登録をお願いいたします。なお、登録されるメールアドレスは携帯電話でないアドレスをお願いいたします。また、メールアドレスを変更した場合は、新規と同じ手続きが必要です。